

## オースティン・ピー州立大学

国際文化交流学部 国際文化交流学科 堀内魁

留学期間：2022年1月11日～2022年12月13日

テネシー州オースティンピー州立大学にて、2022年1月から12月までの1年間交換留学を経験した。留学先大学では政治学や社会問題、メディアなど幅広いジャンルの授業を履修した。どの授業もディスカッション主体であるため留学当初は苦戦したが、(1)事前準備に力を入れる、(2)クラスメイトとの共同学習、以上2点を行うことで授業理解を深め単位を取得することができた。また、国籍や文化、社会背景の異なる学生と授業を共にし、意見交換を行うことで多角的視点を養うことができたと考える。

留学では大きく分けて2つのことが成長に繋がったと考える。

1つ目に寮での共同生活である。1学期目は一人暮らしを行ったのだが、会話機会を増やすことで語学力やコミュニケーション力をさらに伸ばしたいと考え、2学期目は現地学生2人との共同生活を行った。当初は、同室者と共同スペースの利用方法や時間、食に対する考え方の違いから共同生活の難しさを感じた。しかしそれら価値観や考え方の違いを異文化理解、他者理解に繋げることができた。不満があった時には徹底的に話し合い、相互理解を図った。また相手の生活スタイルに合わせた生活を試みることで今まで知ることのなかった新たな気づきを得ることができたと考えている。結果、双方の不満は解消され、私の退寮日には別れに涙するほど深い友好関係を得ることができた。未知の環境での共同生活は、人脈形成や異文化理解の機会など日本ではし得ない経験をすることができた。

2つ目に留学生との交流である。留学先大学には、ヨーロッパやアジア、南アメリカなど世界中の様々な国から留学生が集まる。そんな彼らと勉学、余暇を共にすることは非常に有意義であった。国際情勢や自国について話し合ったことは鮮明に記憶しており、国によって考え方が大きく異なる点は非常に印象的であった。国際交流は国際的視点をもたらしてくれたと考えている。

その他日本文化紹介ボランティアや日系企業訪問、国内旅行など多くのことを経験することができた。留学を振り返り、人生で最も濃い1年であったと感じる。この経験を将来に活かし、さらなる学びに繋がりたい。

